



国際厚生事業団では、平成30年度に来日するEPA(経済連携協定)に基づくインドネシア人、フィリピン人、ベトナム人看護師・介護福祉士候補者の受入れ機関を募集します。

就労開始前の日本語研修や国家試験対策などの充実が図られ、EPA候補者の国家試験合格率は上昇傾向にあります。

受入れ機関募集の詳細は
国際厚生事業団ウェブサイトをご覧ください。

<http://jicwels.or.jp/>

国際厚生事業団

検索 

平成30年度来日

EPA看護師・ 介護福祉士候補者

受入れ機関募集

募集
期間

2017年 3/30(木) 5/12(金)

全国3会場にて説明会を開催します。参加申込・詳細については国際厚生事業団ウェブサイトをご覧ください。

福岡

2017年4月6日(木) 13:00~
@TKPガーデンシティPREMIUM 博多駅前

東京

2017年4月10日(月)・11日(火) 13:00~
@JA共済ビル カンファレンスホール

大阪

2017年4月17日(月) 13:00~
@ホテルマイステイズ新大阪カンファレンスセンター

■EPA候補者の日本語能力について

EPA 候補者は就労開始前に12か月以上の日本語研修を受講します。平成28年度実績では約9割が日本語能力試験 N3(日常的場面で使われる日本語をある程度理解することができる)レベルに達した状態で就労を開始しています。

■就労開始後の日本語学習及び国家試験対策支援

看護師候補者対象

- 受入れ施設における学習に対する助成
- 専門日本語教材の配布、巡回訪問での日本語学習指導
- 受験対策オンデマンド講座、eラーニング
- 集合研修、模擬試験の実施
- 専門家による学習診断、個別学習指導

介護福祉士候補者対象

- 受入れ施設における学習に対する助成
- 専門日本語教材の配布、巡回訪問での日本語学習指導
- 国家試験対策動画講義の提供
- 集合研修、模擬試験の実施
- 通信添削、介護漢字統一試験の実施